

NPO 法人COCO 湘南とCOCO 湘南台の15年の歩み



1998年
高齢者バリアフリー
研究会



1998年 地鎮祭



2000年 誕生会



紙芝居



2006年 雪の日



青山夏美氏 ピアノ演奏



15年間の暮らしとこれから 宮本多満枝



もう十五年にもなるかと思うと、あっという間の日のようでもあり、思い出せないほどの数の出来事が走馬灯のように、よみがえってくる。複雑な気持ちは隠せない。庭一面雑草だった当初、人手を借りなければ到底片付かなかった日々。居住者の自由な畑作りの場に見事な野菜が育ち、食卓にのぼる日、微笑は幸せの表現だった。自由な生活は各人の生活の場を広げ、旅に出るのもよし、働くもよし、読書、又、土に遊ぶ人と、それぞれが何の遠慮もなく明け暮れた。決まりは皆が話し合い、年を経るにつれ、病も突然おとずれてくるけど、1人ではない安心感が不安をとりのぞき、バリアフリーで生活が続けられる。私のCOCOの生活の半分は病氣との闘いでもあったが老いと病は必ず忍び寄ってくる。でも恐れることなく迎えられると思う。



COCO湘南台



2002年頃 鎌山親方を囲んで



2000年 夕食

COCOありま

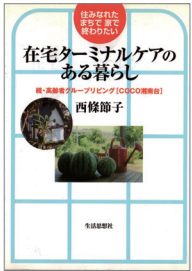


COCOありま開設
(神奈川県海老名市)



2005年頃 ルルちゃんと
ライフサポーター井野元さん

COCO湘南台10周年シンポジウム
「地域をみんなで作っていく」主催



「在宅ターミナルケアのある暮らし」発行
(西條節子著、生活思想社)



2011年 登別ワークショップ



2012年
ココちゃんがやってきた

「グループリビング
運営協議会」設立に
関わる

シンポジウム
「男と女」主催

横浜ワークショップ
「地域に開くグループリビング」
共催



この家に住んで

高橋郁子



15年前COCO湘南台が出来上がったときはほんとに嬉しかった。皆の夢の結晶。それがこの品格ある建物として実現したのです。私は初々しい木の香りのする壁を、ドアを、手すりを、そこいらの中を、何遍も何遍も、時を置いては何遍も何遍も、撫で回したものでした。カナダのジャスパーの湖畔のレストランを模して設計された最上さんの輝身の作品、食堂。私、初めのころは食堂に入るときは、そっとお辞儀をして入ってました。木彫の凝った洗面所、手すりの輪飾り、なんて、優しい心の籠った設計なんでしょう。そして15年目のある日、ふと気づいたのです。ここ15年の私の凡てをこの部屋は見ている、知っている。この壁は私の寝言を聞いている。夜中にトイレに立ってふらついた時も、この床は黙って支えてくれた。旅に行っていた時も、この入口はじっと帰りを待っていてくれたのだ。よし、これからは内緒ごとともこの柱と謀って、そして天井の囁きにもよく耳を傾け、窓の忠告もよく聞いて暮らしていきましょう。よろしくね。



2001年 誕生会



「10人10色の虹のマーチ・
高齢者グループリビングCOCO湘南台」発行
(西條節子著、生活思想社)



2003年 ウクレレ演奏



COCOたかくら



2007年 10周年記念 今井通子氏 講演

COCOたかくら開設
(神奈川県藤沢市) JKA補助



COCOみちしるべ開設
(神奈川県藤沢市)



COCOみちしるべ

財団法人JKA
高齢者生き生き
グループリビング支援事業を開始
(2011年度までの約4年間)



2011年度総会
理事長最上眞理子
(2010年4月1日～
2012年3月31日)



2012年 シンポジウム「男と女」上野千鶴子氏講演



西條節子
理事長再任

登別ワークショップ
「『自立と共生』
理念と実現のための支援」
主催



2013年 横浜ワークショップ「地域に開くグループリビング」
1日目 COCO湘南台座談会



横浜ワークショップ
2日目 神奈川県民ホール 大会議室